

【誤】

10 アカイの片方だけで、2人の2回それぞれの目が決まるか考える。サイコロの目は1～6。和が7になるのは「1と6」「2と5」「3と4」。

ア ➡ 2回とも差が2になるのは、1人が「1と6」、もう1人が「3と4」のとき（ある回が「1」「3」で、別の回が「4」「6」）。だれが何回目にとどの目を出したかは不明。決まらない。

イ ➡ Qの2回目が最も大きいのは、「6」か「5」（「1と6」の人がいれば「6」、いなければ「5」）のとき。Qの2回目は決まらないし、他も決まらない。

アとイを組み合わせると、「1と6」「3と4」のうち、Qの2回目が最も大きいので「6」（Qの1回目は「1」）。各回の差が2であることから、Pは「1回目が3、2回目が4」と決まる。よって「アとイの両方でわかるが、片方だけではわからない」。

【正解】C

【正】（太字が訂正箇所）

10 アカイの片方だけで、2人の2回それぞれの目が決まるか考える。サイコロの目は1～6。和が7になるのは「1と6」「2と5」「3と4」。

ア ➡ 2回とも差が2になるのは、**例えば**、1人が「1と6」、もう1人が「3と4」のとき（ある回が「1」「3」で、別の回が「4」「6」）。だれが何回目にとどの目を出したかは不明。決まらない。

イ ➡ Qの2回目が最も大きいのは、「6」か「5」（「1と6」の人がいれば「6」、いなければ「5」）のとき。Qの2回目は決まらないし、他も決まらない。

アとイを組み合わせても、Pの「1回目が3、2回目が4」でQの「1回目が1、2回目が6」なのか、Pの「1回目が4、2回目が3」でQの「1回目が2、2回目が5」なのか決まらない。よって「アとイの両方があってもわからない」。

【正解】E